

手術、化学療法、放射線治療前後の口腔管理のお勧め

がん治療や外科手術を円滑に進めるためには、口腔内の状態を改善しておくことが大切です。

周術期口腔機能管理の目的

- ・口の中を清潔にして細菌数を減らす。
- ・術後の肺炎や傷の感染を予防する。
- ・化学療法や放射線治療の副作用による虫歯や歯周病の悪化を予防する。
- ・骨転移治療薬による顎骨壊死を予防する。
- ・心臓血管外科手術後の感染性心内膜炎を予防する。
- ・抗血栓薬や抗凝固薬服用時の抜歯後止血困難を予防する。
- ・全身麻酔の気管内挿管や内視鏡による歯の損傷を予防する。
- ・食物を良く噛み、口から食べることを維持し、栄養状態の悪化を予防する。

周術期口腔機能管理の流れ

主治医による説明→歯科口腔外科へ紹介→歯科口腔外科受診

- ・口腔内の診査（X線写真撮影、虫歯、歯周病、埋伏歯、顎骨病変の診査）
- ・歯科治療（虫歯治療 歯周病治療 抜歯）
- ・口内清掃（歯石除去）
- ・セルフケアの指導

補足

- ・手術や化学療法までの期間や体調により管理内容は異なります
- ・時間が十分でないときは応急的な歯科治療となります
- ・かかりつけ歯科医と病院歯科が連携して実施することがあります

口の中を良い状態にしておき、病気に打ち勝ちましょう

食べる力は生きる力